

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公表番号】特表 2002-518346 (P2002-518346A)

【公表日】平成 14 年 6 月 25 日 (2002.6.25)

【出願番号】特願 2000-554400 (P2000-554400)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/04 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 P 31/12

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 37/04

C 0 7 K 7/06 Z N A

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 組成物であって、H L A 対立遺伝子特異的結合モチーフを有する免疫原性ペプチドを含有し、該免疫原性ペプチドが、表 5 および表 10 に列挙したペプチドからなる群より選択される、組成物。

【請求項 2】 特異的 M H C クラス I 対立遺伝子を発現する患者において所定の抗原に対する細胞傷害性 T 細胞応答を誘導するための組成物であって、該組成物が、表 5 および表 10 に列挙したペプチドからなる群より選択される免疫原性ペプチドを含有し、該組成物が、該患者由来の細胞傷害性 T 細胞と接触させるのに適している、組成物。

【請求項 3】 表 5 および表 10 に列挙したペプチドからなる群より選択される免疫原性ペプチドを含有する、組成物。

【請求項 4】 患者において所定の抗原に対する細胞傷害性 T 細胞応答を誘導するための組成物であって、該組成物が、表 5 および表 10 に列挙したペプチドからなる群より選択される免疫原性ペプチドを含有し、該組成物が、該患者由来の細胞傷害性 T 細胞と接触させるのに適している、組成物。